



かけはし

令和4年(2022年)

長沢中

6月29日

学校だより

発行責任者

NO. 19

校長 星野 嘉朗

学校教育目標 命一杯に生きる ～向上心 貢献心 自立心～
深く考え行動する生徒



6月も下旬となり、
いよいよ梅雨らしい陽
気に、と思ったら早く
も梅雨明け。蒸し暑い
毎日が急にやってきま

した。コロナ対策でマスクをしている中で調
節と体調管理が難しそうです。

沢ばたけの紫陽花がきれいになってしまし
た。前期の中間試験も終わり、試験の結果は
別にして(?)学年の大きな行事も一段落し
て…というところでしょうか。



生徒会では「生活のきまり」の見直しを「プ
ロジェクト N」という形で行っている。5月
末の生徒総会は採決にはいかなかったものの
多くの意見が活発に出されたのは承知の通り。

横須賀市内でもいくつかの学校で、決まり
の見直しが行われている。しかし、保護者か
らの要望や、制服の変更を受けて学校側から
の見直そうという動き。長沢中のようにまず
生徒会を中心に生徒にそれを委ねてみよう
という学校はない。生徒の意見をまず聞こう
というのは先生方が今の皆ならば、任せても大
丈夫という信頼が根底にあるのは間違いない。
その根っこには、学校が目指す「深く考え行
動する生徒」にこの取り組みを通して育つ機

会にしたい、という願いがあることを知って
おいてほしい。こんな学校は今のところ、ど
こを見回してもない。

しかし全員が納得するきまりにしてい
くのは簡単なこと
ではないし、地
域の方々や保
護者の皆さん
にも納得のい
くものでなけ
ればならない。



「深く考える」必要がある。この大切な取り
組みをぜひ一歩でも前進させてほしい。なん
とんでも長沢中学校の「未来を創る校則を
作ろう」ということなのだから、数年で変わ
ってしまったり、落ち着いた学校でなくなっ
てしまったりしては元も子もない。「自分た
ちで変える」は大切なことだけれど、その大前
提として一人ひとりが、この長沢中学校を「ど
んな学校にしたいのか」「日常の学校生活をど



んな風に過ごし
ていける学校に
したいのか」その
具体的な姿をイ
メージしている
ことが大事だ。迷

ったり、悩んだりすることはあって当たり前。
でも常に原点に立ち戻って考えていくことが
重要だ。

今の状況であれば、今まで通りとはいかない
が、新しい形での2年ぶりの合唱コンク
ールも実施が見通される。ここから長く続く伝
統を残していくことができるかどうか。3年
生を中心に、一人ひとりが考えながら実現に
むけて行動して欲しい。

第1回学校運営協議会開催

令和4年6月7日(火)

昨年度までは、学校評議員会として、学校の様々な活動にご意見をいただけてきましたが、今年度より、横須賀市の方針として、全校に「学校運営協議会」を設置することになりました。地域の中の学校として、長沢中学校が開かれた学校、信頼される学校となるため、また、学校の円滑な運営を図るために現在の状況、学校運営等についてご理解をいただくとともに、より良い学校づくりのためのご助言やご意見をいただくため協議を行います。何分今年度発足ということで、方向性が定まされるまでは、まだ時間がかかると思いますが、地域の皆様にどんなご協力が得られるのか委員の皆様と一緒に探っていきたいと考えています。



第1回目の今回は、委員長、副委員長を選任し、組織、活動予定を確認するところから始まりました。委員長ほかは以下の通りです。

委員長 柳浦 邦次様(前学校評議員)
副委員長 鳥井 廣信様(前グリーンハイツ自治会長)
委員 安部 久夫様(長沢連合町内会長)
久保田雅子様(前学校評議員)
高橋 良子様(前学校評議員)
森 美友紀様(前学校評議員)

以上の6人が、今年度学校運営協議会の委員をお願いした皆さまです。組織が決まり、規約を確認し、校長が今年度の長沢中学校の教育目標を語り、各グループの代表者より、そ



れぞれのグループの今年度の活動について、説明させていただき、それぞれについてご質問、ご意見をいただきました。次回は、11月末を予定しています。プロジェクトNの進展でご意見をいただいたりすることも考えています。一歩ずつ学校に定着していけば…と考えていますので、今後ともよろしくお願いたします。

将来は教職に？

4名の教育実習生が来ています



教員免許の更新制度が廃止になりますが、明日の教員を目指して、4名の実習生が教育実習を行っています。

1名は養護教諭となるための実習で杉江杏奈さん。6日から17日までの2週間でした。残りの3名は本校の卒業生スティルウェル ステフィニー未来さん(英語) 三宅貴大さん(社会) 余郷隆正さん(社会)。3名は13日から7月1日までの予定で、実習中です。それぞれの



実習の最大の山場は研究授業です。6月30日は、果たして思うような授業ができるでしょうか。楽しみですね。

